



図書館と学習支援

東北大学附属図書館における実践事例

—教員との連携・協働を追求した4年間—



東北大学附属図書館情報サービス課レファレンス係 西村 美雪

自己紹介

大学図書館員17年目(某県立大→某私大×2→東北大学7年目)

- 
- 仙台市出身・
 - 大晦日生まれのAB型

これまでの担当業務

参考調査

- ・レファレンスデスクでの相談対応
- ・レファレンスツールの選定・利活用

- 大規模改修工事
- 展示・講演会企画
- 組織再編

学習支援

- ・講習会（自由参加型・オーダーメイド形式）運営
- ・全学教育科目運営

グローバルラーニング 支援

- ・「留学生コンシェルジュ」と協働した留学生・留学希望者支援
- ・留学生用・留学希望者用資料の選定

図書館の学習支援・・具体的に何がありますか？

直接支援

- ・文献(情報)検索講習会
- ・授業（正規の科目）
- ・ライティング支援
- ・レファレンスデスク
- ・館内ツアー
- ・学習教材作成
- ・ILL …

間接支援

- ・選書（蔵書構築）
- ・資料展示
- ・環境設備
- ・広報活動
- ・ウェブサイト構築
- ・SNS …

当館でも様々な講習会を開催しています しかし・・・コスパはどうでしょう？

■参加者数

→自由参加方式では集まらない

(参加しない理由：忙しい・必要性を感じない・ピンとこない 等)

■作成した教材

→手に取られている？活用されている？

■費用対効果

→資料作成・広報・・・労力をかけただけの効果は？

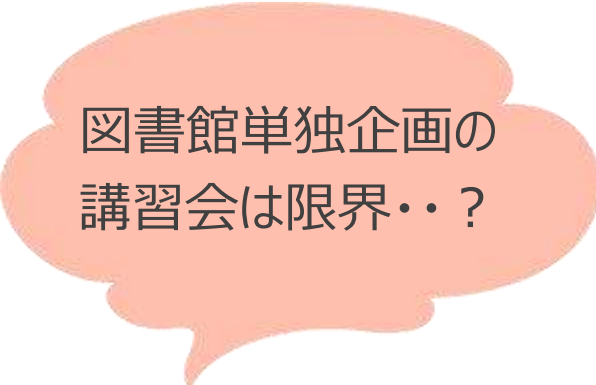
図書館の強みは何か？改めて確認

強み

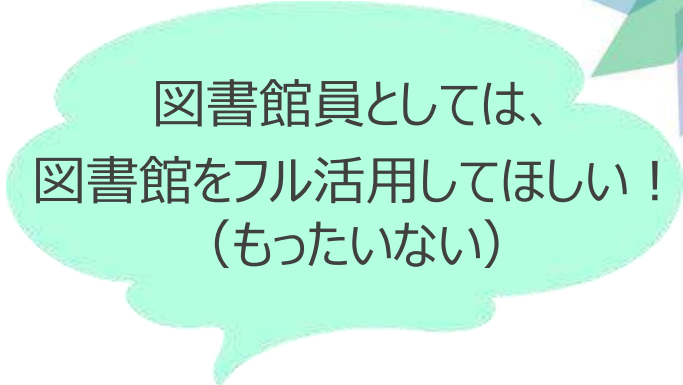
- ・文献検索スキル
- ・学術情報の種類や特性を理解している。
- ・図書館の有するリソースから、各分野の専門情報へナビゲートできる。
- ・講習会実施のノウハウを蓄積している。
- ・文献入手のためのネットワークがある。

弱み

- ・アカデミックライティングの専門家ではない。
- ・学術情報の中身については専門的なレベルで判断できない
- ・付加価値を与えることができない。
(単位・加点)
- ・図書館講習会の広報が行き届かない。



図書館単独企画の
講習会は限界・・？



図書館員としては、
図書館をフル活用してほしい！
(もったいない)

結論：教員との連携・協働体制への転換

具体的には

- ・受講対象（ターゲット）と習得目標を明確にする
- ・図書館講習会を授業内で活用してもらう
- ・自由参加型の講習会からオーダーメイド型講習会へのシフト
- ・当館が関わってきた全学教育科目*の実施体制の変更

*全学教育科目とは主に1・2年生を対象に開講され、基本的教養や知識、技能を養うことを目的としている。様々なカテゴリで多くの科目が用意されている。

東北大学附属図書館について

本館(川内キャンパス)

- ▶ 1911 (明治44) 年設置
- ▶ 蔵書数 約410万冊

図書館キャラクター
はぎのすけ



医学分館
(星陵キャンパス)

北青葉山分館 (理薬)
(青葉山キャンパス)

工学分館
(青葉山キャンパス)

農学分館
(青葉山キャンパス)

部局図書室
(片平キャンパス等)



学習支援ポリシー（平成29年3月制定） 第3項

3. 大学における調査・学習スキル習得のための人的サービスを提供する。

- ・全学教育科目におけるレポート作成指導
- ・図書館における調査・学習スキル習得支援のための講習会等の実施
- ・調査・学習スキル習得のための教材の開発と提供
- ・SLA（Student Learning Adviser）との連携による学習・研究支援活動

東北大学附属図書館本館の講習会

ターゲット：新入生～文系学部生・日本語文献を利用する留学生



情報探索のススメ

オーダーメイド講習会

大学生のレポート作成入門

新入生・文系学部向けの受講モデル

それぞれのターゲットを定め、広報や参加者増に注力
学年やニーズにあった継続的な受講を促す

導入

オリエンテーション
セルフツアー

図書館への興味喚起・
有用性の印象付け

基礎

- ・ 情報探索のススメ
- ・ 大学生のレポート
作成入門

大学での学び・レポート
作成への心構え

応用

オーダーメイド
講習会(2.3年生)

専門文献を収集する
ための実践的な検索
スキルを身につける

発展

オーダーメイド
講習会
(3年生以上)

専門資料へのアプローチ
卒論等の具体的目標
へ対応したサポート
進学後の研究生活への
ステップ

情報探索のススメ

- ▶ 実施期間：4月後半の2週間
- ▶ 対象：学部1年生（全学部）
- ▶ 内容：「学術情報の集め方」
「図書の探し方」
「雑誌論文の探し方」
「新聞記事の集め方」の4種類
- ▶ 講習形態：座学各30分
- ▶ 実施方法：自由参加方式

A.学術情報の集め方

「学術情報」とはどのようなもの？
大学生のレポートではどのような情報をを使うのか、
学術情報の種類や集め方について説明します。

B.図書の探し方

学習の基本はまず図書から。
図書の基本的な探し方と入手方法について、東北大学の蔵書検索「OPAC」の利用方法を中心に説明します。

情報探索のススメ 入門編

30分でわかる！シリーズ（新入生向け） 事前申込み不要

日 時： 4月15日（月）～ 26日（金）までの平日
①12:10-12:40 ②15:10-15:40 ③16:30-17:00
※ただし、毎週火曜日の②は開催なし。

開催順： A⇒B⇒C⇒Dの順に実施します。

例) 4月15日(月) : ①A ②B ③C
4月16日(火) : ①D ②A
4月17日(水) : ①B ②C ③D

場 所： 1号館2階グローバル学習室

C.雑誌論文の探し方

雑誌論文の基本的な探し方と入手方法について、日本論文データベース「CiNii Articles」を中心に説明します。

D.新聞記事の探し方

新聞記事の種類やその特徴、入手方法について説明します。
新聞特有の用語や各新聞社のデータベースも紹介します。

お問い合わせ：附属図書館本館レファレンスデスク 022-795-5935 desk@grp.tohoku.ac.jp

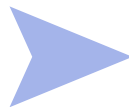
0-15:40	③16:30-17:00
探し方	C.雑誌論文の探し方
情報の集め方	
文の探し方	D.新聞記事の探し方
探し方	C.雑誌論文の探し方
情報の集め方	B.図書の探し方
事の探し方	A.学術情報の集め方
文の探し方	

24(水)	D.新聞記事の探し方	A.学術情報の集め方	B.図書の探し方
25(木)	C.雑誌論文の探し方	D.新聞記事の探し方	A.学術情報の集め方
26(金)	B.図書の探し方	C.雑誌論文の探し方	D.新聞記事の探し方

図書館を使いこなして、授業・レポートで活用するには
スキルが必要です。この4つを受講すれば基礎はバッチリ！

▶ 転換ポイント

- ・ 広報：新入生全員に配布する「図書館スターターパック」にチラシを封入、年度初めに全教員に活用を促すダイレクトメール
- ・ 全学教育科目担当教員に授業での活用を打診



▶ 結果

- ・ 受講すると加点（科目）する科目
 - ← 教員にとっては、授業外学習を行うことができ、効率的
- ・ 上記以外でも受講を勧める教員あり

オーダーメイド講習会

- ▶ 実施期間：授業開講期間随時
(4-7・10-1月)
- ▶ 対象：全学部
(授業・ゼミ・有志のグループ単位)
- ▶ 内容：講義・実習・見学等の複数コンテンツ
から選択
- ▶ 講習形態：講義/実習等
- ▶ 実施方法：事前申込制

ゼミ・研究室

単位で実施

附属図書館本館

オーダーメイド講習会のご案内

ご希望の日時・対象(学部生・院生・留学生向けなど)・内容に合わせた講習会をオーダーいたします。図書館の基本的な使い方や、学術論文の探し方、専門分野のデータベースや電子ジャーナルの利用方法など、多くのコンテンツから組み合わせ可能です。

お申し込み方法：申込書に必要事項をご記入の上、下記までお申し込みください。

※申込書はウェブページからダウンロードできます。(東北大学附属図書館＞研究支援＞オーダーメイド講習会)

申し込み状況は、附属図書館ウェブサイト「講習会カレンダー」に掲載しております。

詳細情報はこちらへ



§ 目的別 おすすめコンテンツ §

1 > 基本的な利用方法を学ぶ

- ❖蔵書検索 (図書・雑誌・視聴覚資料)
- ❖資料の配列とブラウジング
- ❖資料の使い方マナー
- ❖図書館ツアー

東北最大規模の蔵書数と施設

2 > 文献の探し方・選び方を学ぶ

- ❖日本語論文検索
- ❖外国語論文検索
- ❖新聞記事検索
- ❖本の読み方・メモの取り方

PCを使った学習形式も可能

3 > 図書館をさらに活用する

- ❖MyLibrary (図書館のオンラインサービス)
- ❖寄蔵ガイド
- ❖国立国会図書館デジタル送信サービス

図書館資料を貸し出す

4 > 特色あるコレクションを知る

- ❖古典資料・特殊文庫の見学
- ❖古典資料・漢籍の探し方
- ❖専門分野のデータベース

文系の3年生以上におすすめ

▶ 多様なメニューを用意（組み合わせ自由のプリフィックススタイル）

- ☐ 図書検索（東北大学蔵書・他大学や国会図書kな・公共図書館等の蔵書検索）
- ☐ 日本語論文検索（CiNiiArticles・雑誌記事索引・ざっさくプラス等）
- ☐ 外国語論文検索（Web of Science・Ovid・EbscoHost・ScienceDirect等）
- ☐ 新聞記事検索（朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・河北新報等）
- ☐ MyLibrary（オンラインによる文献複写・取り寄せ・施設予約等）
- ☐ 図書館ツアー
- ☐ 書庫ガイダンス（学部生の本館1号館地下書庫への入庫権限付与）

【オプション項目】

- ☐ 古典資料・特殊文庫の見学
- ☐ 古典資料・漢籍について
- ☐ 資料の使い方マナー
- ☐ 本の読み方・メモの取り方
- ☐ 資料の配列とブラウジング（書架を眺めながら本を探すコツ）
- ☐ 国立国会図書館デジタル送信サービス
- ☐ 人文系・理工系・医学系の専門データベース



古文書や古典籍の閲覧



留学生向けも



書庫ガイダンス

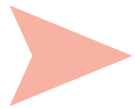


PCエリアでの検索実習



▶ 転換ポイント

- ・ 広報：①ポスターを作成し、
全教員に送信
②図書館へビュースタッフで
ある文学部の教員に
個別にメリットをPR
- ・ 研究内容に沿った実習問題の作成、
書庫の資料紹介
- ・ シラバス：「文献調査」「レポートを
書く」などの記載がある
科目をチェック



▶ 結果

- ・ 受講者数（回数）の増加
- ・ 多様なメニュー提供による満
足度アップ

大学生のレポート作成入門

- ▶ 実施期間：1セメスター（4-7月）
- ▶ 対象：全学部の1年生
- ▶ 内容：4名の教員と図書館員が運営。

ライティングと文献探索を合わせた
ところが特徴。

具体的には・・・

レポートの文章術や引用方法、文献探索
技術やプレゼン技法などを学び、最終的には
任意のテーマでレポートを書く。複数教員の
添削を2回受けることができる。

全学教育科目

大学での学びをサポート！ 図書館活用法を 学べる授業

年間通して図書館活用法を学べる授業があります！

カレントピックス：「大学生のレポート作成入門—図書館を活用したスタディスキル」 4/9～

この授業では、大学生に求められる「学術的」なレポートの作成法や、それに欠かれない情報収集の方法の基礎と図書館活用法、そしてプレゼンテーションの技法を学ぶことができます。この授業を受講すれば、確実に長く役立つスキルを身につけることができますよ。



担当教員：附属図書館副館長
酒井聡樹 生命科学研究科准教授
渡辺正夫 生命科学研究科教授
山田仁史 文学研究科准教授
串本剛 高度教養教育・学生支援機構准教授
講時・曜日：第 1/3/5/7 セメスター 火曜 5 限
対象学部：全学部

ここがすごい！
おはたのレポートを
先生が
それぞれの観点で
添削します！

図書館の使い方、データベースの使い方を授業内で教えてもらい、文献を探す際にも役立つ。

昨年度受講生の声

絶対役立つ、新

おすすめポイント①

大学の学習では、学術的なレポートを学んでおけば、卒

おすすめポイント②

レポートを書く、文・新聞記事・統計全国でも有効の巨

おすすめポイント③

どの授業も、新しい、レポートを書くことで、論理的に

基幹科目：言語表現の世界「読解ゼミ：読んで書く作法の理解と実践」 4/9～



担当教員：串本剛 高度教養教育・学生支援機構准教授
講時・曜日：第 1 クォーター（週 2）、火曜／木曜 1 限
第 4 クォーター（週 2）、月曜 4 限／水曜 1 限
対象学部：1Q・医歯歯薬工、4Q・文系 理農

3タイプの
レポートを書く！

基幹科目：人間と文化「学習理論入門」 4/8～



担当教員：佐藤智子 高度教養教育・学生支援機構准教授
講時・曜日：第 1 セメスター、月曜 1 限／木曜 1 限
対象学部：月曜…文系 理農 木曜…医歯歯薬工

学習の仕方を
理論的に学ぶ！



クリティカルリーディング



レファレンス図書のブラウジング



PCを用いたワーク



自然科学分野の文献検索実習

▶ 転換ポイント

- ・ 広報：①図書館報・ウェブサイトでの受講のメリットをPR
②学生サークル主催の「履修相談会」での広報依頼
- ・ 教員と図書館員の役割分担を明確化、全体を統括する教員を置く（2016年～）
ライティング指導は教員・文献探索実習は図書館員が担当



▶ 結果

- ・ 初回出席者の大幅増
- ・ オムニバス授業の良さを残しつつ、ライティングを学ぶ一貫した指導方針
- ・ 授業評価アンケートでの高評価
（12項目中すべての項目で平均値以上 ※平成30年度）
- ・ ライティング力の向上
→教員の添削を経て修正し10点以上のUP（60点満点）

参加者からの感想



＜情報探索のススメ＞

- ・論文入手の筋道が見えました。
- ・図書館にはインターネットと同等以上のポテンシャルがあるとわかりました。
- ・学術情報を集めるにあたって有用な情報を多く得られた。

＜オーダーメイド講習会＞

- ・書庫の資料を活用できるくらい勉強しなければと思った。
- ・受講して、研究を進めやすくなった気がする。
- ・実習問題が多くて難しかったが実践的だった。

＜大学生のレポート作成入門＞

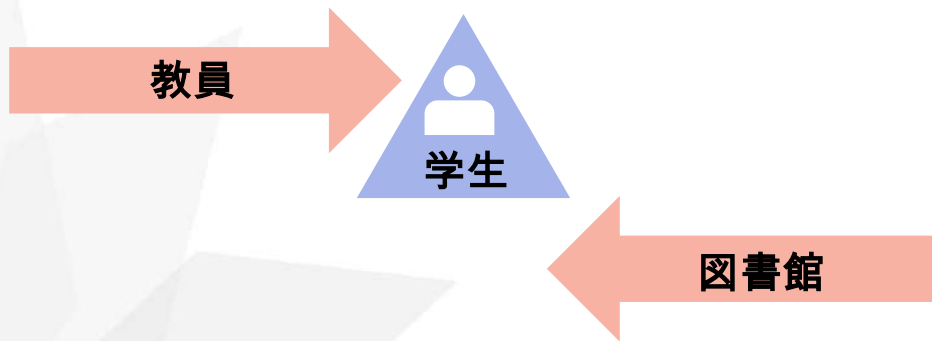
- ・文章を書くときに意識すべきことや、引用の方法など、独学では学びづらいことを学べて大変役立った。
- ・1年生のこの時期にレポート作成方法を学べたことはとても良い経験になった。
- ・やみくもに調べたことを書いていた高校までのレポートではいけないことがわかり、この授業をとって本当によかったと思いました。

4年間関わってみて..

①教員と図書館

お互いのメリットとなる関係づくり

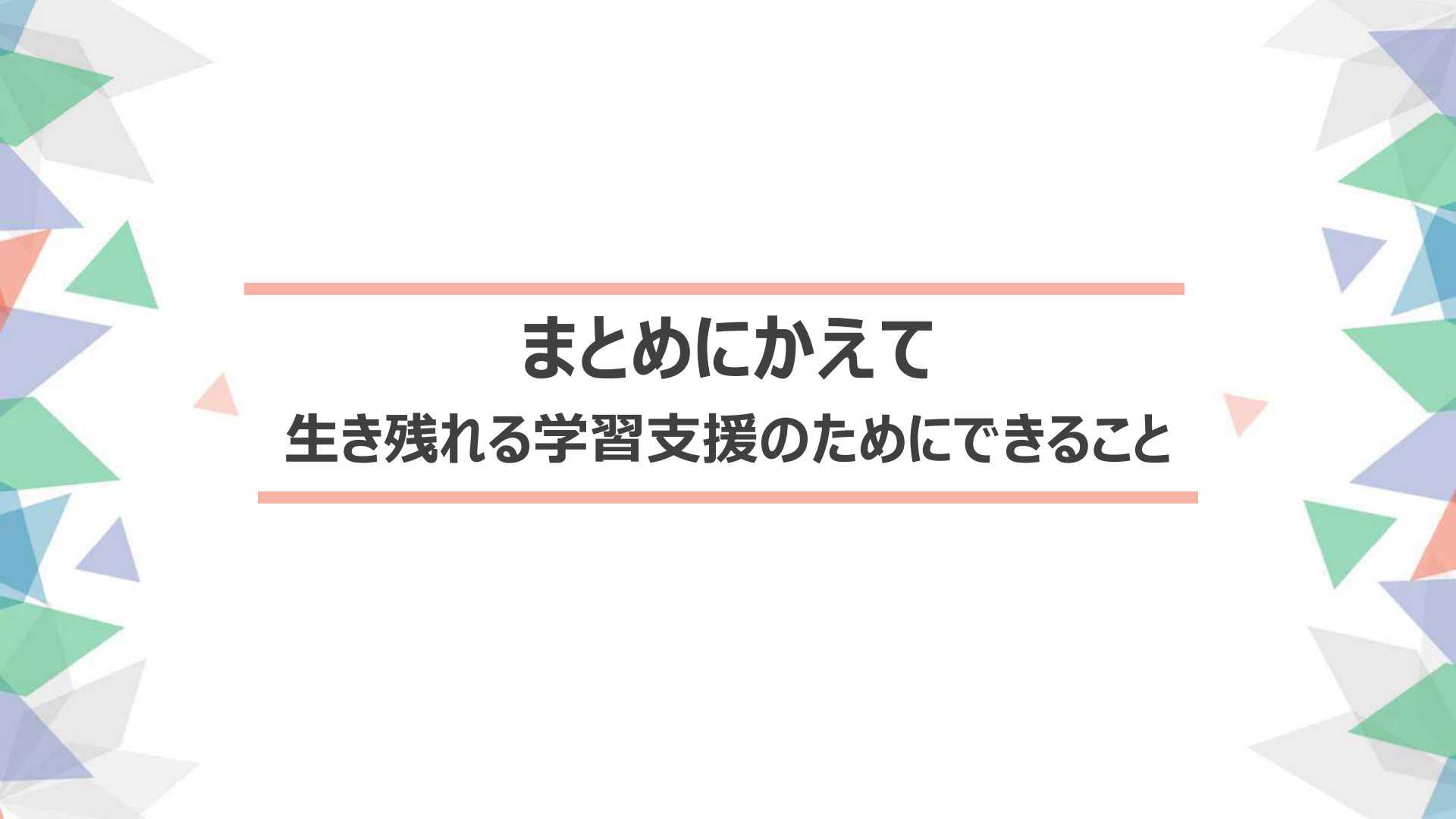
研究手法・レポート添削指導 等



学術リソースの提供・入手・施設の提供 等

②様々な構成要素が合わさり 効果的な学習支援ができる





まとめにかえて

生き残れる学習支援のためにできること

Step1:利用者のデータを積極的に集める

例えば

利用者属性 カリキュラム 学事日程 利用時間 貸出統計
シラバスの分析

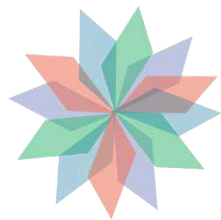
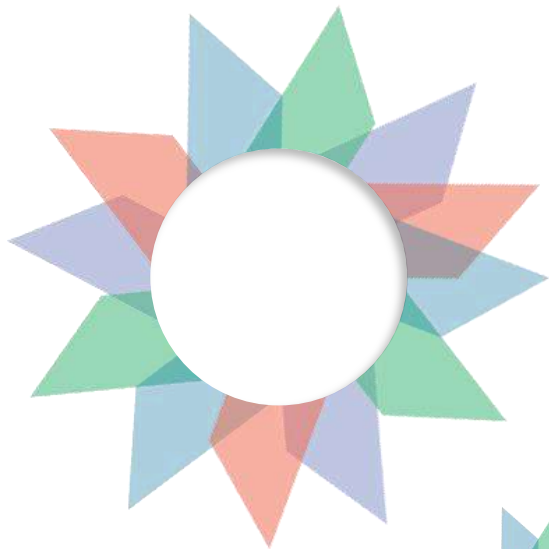
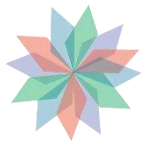
Step2:学内部局との連携・協働をさらに広げよう

- ・ 事務職員も巻き込む
- ・ 効果的な広報手段

課題ももちろんあります

- ・ノウハウの継承
- ・安定的運営基盤-人員体制
- ・標準化とオリジナリティのバランス
- ・アフターケアや理解度の確認手段

**ニーズ・レベルにあわせた講習会コンテンツ ×
図書館リソースの活用 = 生き残れる講習会**



ご静聴 ありがとうございました

ご意見・ご感想をお待ちしております。
miyuki.nishimura.d1@tohoku.ac.jp